

酒田RC訪問報告



2018.1.17

2018.1.16 兵六玉にて

酒田RC・小樽南RC 相互交流訪問実績

2018年1月作成 小樽南ロータリークラブ 会員親睦委員会 姉妹交流担当 2018/2/1

西 暦	和 暦	小樽南会長・幹事	酒田会長・幹事	酒田より	小樽から	記事(訪問主目的)
2000-01	H12.H13	見延・齊田	小松・羽藤	9.29 14名		小樽へ初来訪 祝津・群木陣で歓迎交流会 小樽南11名参加
					11.22 11名	酒田を初訪問・第1回合同例会・盟約締結基本合意
				6. 8 19名		第2回合同例会 酒田・小樽南RC 姉妹盟約締結
2001-02	H13.H14	山谷・野村	堀・加藤		5.31 19名	酒田RC創立45周年記念式典 鹿児島・小樽南・酒田3RC合同例会
2002-03	H14.H15	相馬・加藤	高橋・羽藤	6. 6 20名		懇親ゴルフ、合同例会・懇親会
2003-04	H15.H16	大黒屋・山崎	丸藤・堀	5.23 10名	5.23 18名	世界大会(大阪ドーム5/23-26) 酒田・小樽南RC交流会
2004-05	H16.H17	成瀬・村田	宗・藤塚	2. 5 7名		小樽南RC45周年記念式典、祝賀会。横浜中RCから2名来訪
2005-06	H17.H18	新倉・小笠原	水戸部・浅井		10.9 9名	合同例会、懇親会
2006-07	H18.H19	浅原・柴田	小幡・兵藤	7. 7 6名		同年10月開催予定のR1山形地区大会参加要請
					10.13-16 10名	R1山形地区大会参加、関原がパナーに熱いエール・3クラブ交流会
2007-08	H19.H20	廣瀬・廣部	白崎・浅井			前年2年継続し訪酒しているため休止
2008-09	H20.H21	福島・板垣	高橋・阿部	9.26 7名		次年度酒田RC50周年来訪要請・歓迎夜間例会
2009-10	H21.H22	齊田・松浦	進藤・柴田		9.12 17名	酒田RC50周年式典、祝賀会 3クラブ交流会(酒、鹿、小RC)
				3.23 11名		小樽南RC創立50周年式典・第6グループIM・懇親会
2010-11	H22.H23	北野・山吹	長濱・柴田			東北地区大震災により休止、見舞金贈呈
2011-12	H23.H24	荒田・斎藤	浅井・阿蘇		9.21-24 11名	姉妹盟約10周年記念式典、祝賀会 翌日小樽南RC歓迎パーティ
2012-13	H24.H25	岡崎・東	阿部・久道			休止
2013-14	H25.H26	吹越・山村	丸藤・荒生			休止
2014-15	H26.H27	加藤・工藤	阿蘇・野口	9.19 9名		歓迎夜間例会 レストラン好で3年ぶりの親交を深める
				2.13 4名		小樽南RC創立55周年記念式典、祝賀会、横浜中RCから6名来訪
2015-16	H27.H28	廣部・坂口	柴田・水口		9.13-14 9名	酒田RC56周年記念事業・小樽南RC歓迎交流会
2016-17	H28.H29	上野・三栖	荒生・伊藤			休止
2017-18	H29.H30	松浦・石川	水口・押切		1.16-17 2名	友好関係について意見交換懇親会・例会出席
2018-19	H30.H31	工藤・湊				
2019-20	H31.H32	小笠原				酒田RC創立60周年(2019.9.16)
						小樽南RC創立60周年(2020.2.5)
2021-22						酒田・小樽南RC姉妹盟約4締結20周年記念(2021.6.8)

【総括】2000年～2018年1月 19年間 酒田～小樽10回 103名 小樽～酒田9回 106名 合計19回 延べ人数209名

まごころ箱

松浦会員 見延会員 卓話有難うございます。
資料の整理等大変お時間を取らせました。

坂口会員 夫人誕生祝。綺麗なお花届きました。
満面の笑みで眺め 孫に写メ添付してました。

いつも有難うございます!

まごころ箱 2月16日分 4,000円
入金集計額 合計 **670,000円**
(H29.7.7~H30.2.16)

Rotary 小樽南ロータリークラブ会報

Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500

24

2018年2月24日発行
通巻 第2819号

1960年創立
昭和35年2月5日

●本日2月24日(土)のプログラム

◎3クラブ合同例会
点鐘：pm4:00～
場所：小樽グランドパーク5階

●来週3月2日(日)のプログラム

◎スピーカー：星 功氏(小樽消費者協会)

●再来週3月9日(日)のプログラム

◎社会奉仕委員会担当例会

●2017-2018年度 IRテーマ

ロータリー：
変化をもたらし
2017-2018年度会長
イアン H.S. ライズリー

2017-2018 地区目標

●会員増強の推進
●情報の共有
●環境保護の取り組み
●ロータリー財団寄付を、5%増加に向け取り組み

松浦年度信条

善 職業奉仕

美 四つのテスト

快 楽しもう

●第23回例会報告 2月16日(金) 「酒田RCとの交流の流れとあらまし」

●ロータリーソング 「日も風も星も」

●ゲスト・ビジターの紹介

志比川 武氏(蘭越RC)

●会長の時間 松浦会長

●先週開催の小樽市内高等学校優秀卒業生表彰式の模様を、北海道新聞小樽市内版、小樽ジャーナル等で取り上げていただきました。またSTVの道内ニュースにて放映される予定となっております有難うございます。

●本日の例会プログラムは、見延会員(2000-01年度会長)に酒田RCとの「姉妹盟約締結」までの経緯など交流の流れ等、ご講話をお願いいたしております。後ほどのスピーチ楽しみにしております。

●幹事報告 石川幹事

●台湾地震災害義捐金のお願い。

(当日例会にて合計40,000円の浄財)

●米山記念奨学会の領収書が間違えて配布している

可能性がありますので、お気づきの方はお戻し下さい。

●次週2月23日(金)の例会は3クラブ合同で24日(土)に変更。点鐘16時。

●出席委員会

◆平成30年2月16日(金)

会員総数 65名 本日の欠席者 21名
東、大倉、岡崎、加藤、佐藤(喜)、柴田、白石、芝原、鈴木、高木(成)、田中、高橋、地山、新倉、西谷、野村、林、前川、松尾、宮川、山田

◆平成30年2月2日(金)

会員総数 65名 ホーム欠席者数 17名
メーカー数 2名 純欠席者数 15名
確定出席率 85.40%

●メーカー

2/7 濱本(花園村会)

委員会スナップ

出席退会防止委員会 出欠調書作成中



毎週ご苦労様です!

例会運営委員会 (まごころ箱担当)



ニコニコ 待ってまーす!

酒田ロータリークラブとの交流の流れとあらまし

① 盟約までの経緯

2000年（H12）7月 酒田RC貞広姉妹交流委員長から（小樽）堀井建商社長経由
小樽南RC濱口会員に 酒田RCとの提携話の打診情報が寄せられた。
小樽南RC理事会に諮ったところ、前向きに取り組むことが決定された。
同年9月酒田RC高橋副会長以下14名来樽 来群陣で初対面懇親
11月小樽南RC見延会長以下11名 訪酒 盟約の方針確認（実務・斎田幹事）
翌H13年6月 酒田RC会員夫人19名 来樽 姉妹盟約締結（グランドH）



スピーカー：見延会員

② 盟約締結

姉妹盟約宣言文

酒田RCと小樽南RCは、かつて小樽が日本海交易の北前船で結ばれた歴史的背景をふまえ、互いに日本海の港湾都市を基盤とするロータリークラブとして相互交流相互啓発を深めながら、両クラブ間におけるロータリーの友情と敬愛の実を挙げるため、本日をもって姉妹クラブを締結し、盟約する事を両ロータリークラブ代表の名において宣言します。

記

酒田RCと小樽南RCは奉仕の精神に基き、両クラブと両地域発展の為 次のことを盟約します。

- 1、相互の親善と友情を促進する。
- 2、港町としてお互いの産業、観光の提携を促し、物産の紹介や観光の斡旋に協力する。
- 3、両地域の青少年健全育成の為、相互の教育上の交流を図り、人材育成に協力する。
- 4、災害時は、友情の絆の基に、相互扶助する。
- 5、ロータリーの情報を交換し、両クラブの活動を相互扶助する。
その具現化のため、原則として両クラブは年一回、お互いのクラブ例会を担当し、クラブとしての友情と親睦を深める。

2001年（H13）6月8日

盟約内容以上

③ 今日までの交流経過（準備の前年分を含む）

● 相互交流頻度

盟約定結後、今日2018年（H30年）2月迄 19年間で
酒田RCの小樽来訪 10回 103名
小樽南RCから訪酒 9回 106名 合計19回 209名相互訪問
酒田RCは小樽南RCより2倍以上の動員率

● 会員数の推移（盟約時～現在）

会員の減少 酒田RC 45～27名（40%減）
小樽南RC 90～66名（27%減）

盟約締結時の会員の残存率

酒田RC 27名中 10名 37%
小樽南RC 66名中 28名 42%
いずれ残存率は 0 になる

● 酒田RCは1979年（昭和54年）以来（小樽南RCとの提携22年前から）今日まで39年間鹿児島RC

と提携関係にある。（西郷南州の恩義）

鹿児島との交流頻度は 周年行事他 節目節目に相互交流 5年に3回程度？
姉妹締結（昭和54年）から平成15年まで24年間で15回相互交流
（データ～鹿児島RCのホームページより）

● 小樽南RCも同様だが、酒田RCは会員も減少し、まして鹿児島RCとの姉妹提携を抱えつつ、これまでのような毎年交流のような関係維持は厳しい状況下にあるように感じられる。

④ 姉妹交流から得たもの

歴史も文化も違う異郷の地に相性の良いロータリーの友を得たことは、我がクラブにとって喜びであり宝である。

1、人情の厚さ細やかさや優しさ

長年の歴史や文化から生み出された山形県人の県民性が、他人に対する親切さや思いやりは半端でない。例会での配慮、歓送迎の仕方、酒田周辺の観光案内での気配り等

2、クラブのホームページやブログを通して酒田RCとの体質の違い、クラブ運営の仕方等大変勉強になることが少なくない。

近年では、特に2015年から2016年度（H27～28）柴田、水口年度の会長方針やクラブ運営に就いては見習うべき点多々あった。

改革には異論はつきもので、大変なご苦勞もあったと推測される。

小樽南RCも絶えず改善改革は必要。平穩無事だけがベストではない。

酒田RCと共に楽しみ且つ学びあって、ロータリー人生の充実を図りたいもの。

3、これまで9回の酒田訪問を通して、山形県の観光地は随分案内して貰い歴史や文化を楽しむと共に、美味しいものも大変ご馳走になってきた。

この間酒田RC会員の数々の気遣いに触れ、単なる観光旅行とは違った喜びと感激を味わうことが出来た。

⑤ 今後の交流に就いて

● 「不易と流行の精神で」根本精神は（盟約の精神）は変えない。

しかし、やり方、交流の方法等は時代の変化、ロータリーの変化、そしてクラブの変化に対応して弾力的に変化させていきたいもの。無理しない。

（例）テレビ電話による合同例会の開催等も今後お互いに協議研究し、実情にあった交流を行うことが必要。

● 体験を通して実感しよう

いずれ盟約時の会員は皆居なくなる。

此の20年間で多くの会員によって、培ってきた両クラブの盟約の精神と実績をどう次世代に継承して行くか。

実際の交流体験の中からこそ、交流の良さも意義も肌で感じるもの。

人も変わる。世の中も変わる。ロータリーも現実が変わっている。

その中でも盟約の精神は変えることなく、然しやり方は大いに工夫しながら充実発展していきたいもの。交流体験の少ない会員は、是非積極的に訪問交流に参加し、姉妹クラブの良さと喜びを体験して欲しいと思う。

以上

親睦委員会 委員 見延 庄三郎（2000-01年度 会長）